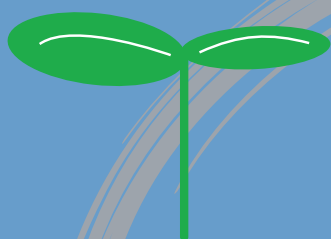


エコツーリズム

Ecotourism

普及と定着のための5つの推進方策



エコツーリズム憲章



エコツアー総覧

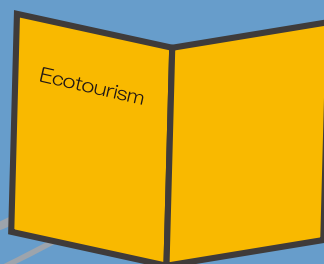
ECOTOURISM
AWARDS

* ロゴマーク作成中

エコツーリズム大賞



モデル事業



エコツーリズム推進マニュアル

- エコツーリズム推進方策に関する問い合わせは、下記までお願いします。
環境省 自然環境局 総務課 自然ふれあい推進室
TEL : 03-5521-8271
- エコツーリズム推進会議の資料は、環境省ホームページに公開しています。
(<http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/index.html>)



環境省

Ministry of the Environment

エコツーリズム?

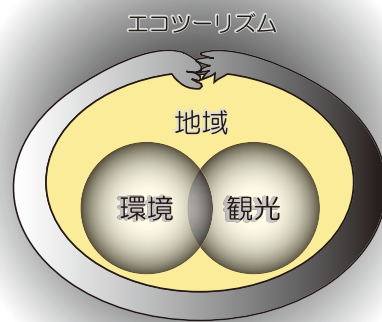
エコツーリズムとは、自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかたです。

エコツーリズムの効果

- ①環境保全：旅行者や住民の意識が高まり、地域の自然環境・文化資源が保全されます。
- ②観光振興：新しい旅行のニーズに対応し、新たな観光需要を起こすことができます。
- ③地域振興：雇用の確保、経済波及効果、住民が地域に誇りを持つこと等により地域振興につながります。

エコツーリズムの実現には、旅行者や観光事業者だけでなく、地元住民や地域の様々な産業を含めた事業者の協力による取り組みが必要です。

(エコツーリズム推進会議より)



エコツーリズムの推進は、「環境」「観光」「地域」が深い関わりを持ちながら取り組む社会のしくみづくりです。



エコツアー総覧

*エコツアー総覧に掲載するエコツアー、宿泊施設、交通機関の募集を行います(平成16年7月15日開始)。詳しくは、<http://ecotourism.jp>をご覧ください。

「エコツアー情報をインターネットで発信します。」

エコツーリズムを実践するエコツアー事業者、宿泊施設、交通機関を紹介するウェブサイト (<http://ecotourism.jp>) を開設して、旅行者が好みに応じたエコツアーをインターネットで検索できるようにします。(平成16年7月30日より)

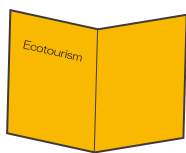
ECOTOURISM
AWARDS

エコツーリズム大賞

*エコツーリズム大賞の募集は平成16年9月に行います。詳しくは、環境省ホームページをご覧ください。
(<http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/index.html>)

「優れたエコツーリズムの取り組みを表彰します。」

エコツーリズムを推進する事業者や地域ぐるみの活動のなかから、特に優れた取り組み例(人材育成のしくみ、フィールド利用の制度、情報提供のシステムなど)を表彰し、広く紹介します。



エコツーリズム推進マニュアル

「エコツーリズム推進のノウハウを解説します。」

エコツーリズム推進の取り組み手順やポイントをまとめたマニュアルを作成し、環境省ホームページに掲載します。(平成16年7月より)
(<http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/index.html>)



モデル事業

(平成16年度～18年度に実施)

「エコツーリズム推進の取り組みを支援します。」

エコツーリズムに先進的に取り組む13箇所のモデル地区を決定しました。
関係府省連絡会(内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省)を設置して、各モデル地区の個性を活かしたエコツーリズム推進の取り組みを支援します。

モデル事業の経過は、ウェブサイトにて公開します。(平成16年9月より)
(<http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/index.html>)

13のモデル地区

● 豊かな自然の中での取り組み

原生的な自然地域などにおけるエコツアーのあり方、適切なルールのもとでのエコツーリズムの推進を目指します。

知床地区



白神地区



小笠原地区



屋久島地区



● 多くの来訪者が訪れる観光地での取り組み

多くの観光客が訪れる観光地における地域資源を保全活用した利用の促進、マストურიズムにおけるエコツーリズムの浸透を目指します。

裏磐梯地区



富士山北麓地区



六甲地区



佐世保地区



● 里地里山の身近な自然、地域の産業や生活文化を活用した取り組み

里地里山における自然体験、森林の管理、清掃活動などの環境保全活動のプログラム化など、幅広い活動の推進を目指します。

田尻地区



飯能地区



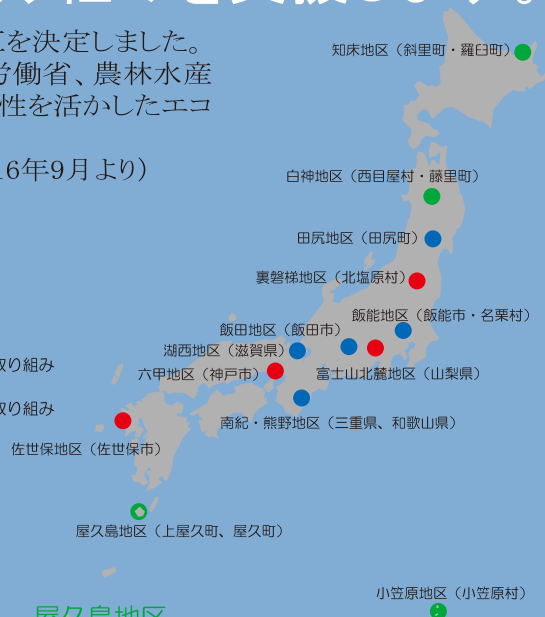
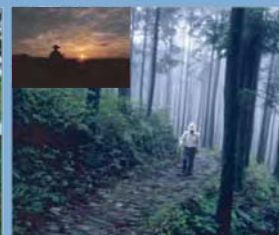
飯田地区



湖西地区



南紀・熊野地区



エコツーリズム憲章

ひとびとが、自然や環境、文化を発見する旅に加わり、
自然のために、小さくても何かを实践し、
そうした旅人を受け入れる地域を、みんなで作っていけば、
この国土のすみずみにまで、個性に満ちた自然や文化があふれ、
もっとゆたかないのちを楽しむことができる。
一人ひとりが自然を守り、考え、慈しむ。
自然の中にあたたかい光を見る、
「エコツーリズム」はそのための提案です。

ゆっくりと見回してみよう。
見えなかった色がみえてくる。
気がつかなかった香りに気づく。
聞こえなかった歌がきこえてくる。
季節が移っていく。
あざやかに、大地がここにある。

森がどこまでもひろがっている。
どこまでも空が、海がひろがっている。
風がそっと通りすぎる。
水が落ちて、土を潤す。
生きものたちが息づく。
人間のふるさととは、ここにある。

自然はやさしい。温かい。
大きくて、物知りだ。
時に荒々しい。
時にはひどく荒々しい。
人のくらし、歴史や文化は、
そうした自然とともに育ってきた。

大自然から里山や都市の小さな自然まで、
自然のいのちと人のいのちを共振させる。
そういう旅をしよう。
ゆったりと呼吸し、
ゆっくりと見直し、
おおらかな一歩をしるしたい。

「エコツーリズム」は次の3つを実現し、それがずっと続いていくことをめざします。
地域の自然と文化を知り、慈しむ。
元気な地域が自然を守る。
自然と文化を受け継いでいく。

エコツーリズム推進会議



環境省は平成15年11月から平成16年6月にかけて有識者と関係府省で構成するエコツーリズム推進会議（議長：小池環境大臣）を開催し、「エコツーリズムの理解を広める」「エコツーリズムに積極的に取り組む地域を拡充する」「エコツーリズム推進事業者を拡充する」「エコツアー需要を拡大する」ことを基本目標に、様々な見地からエコツーリズムを考え、推進方策を決定しました。

●エコツーリズム推進会議の開催日程

第1回推進会議 平成15年11月12日
第2回推進会議 平成16年3月10日
第3回推進会議 平成16年6月2日

●エコツーリズム推進会議 委員

愛知 和男	NPO法人日本エコツーリズム協会会長
稲嶺 恵一	沖縄県知事
加藤 登紀子	歌手・国連環境計画（UNEP）親善大使
金田 平	（財）日本自然保護協会理事
小池 百合子（議長）	環境大臣
小林 英俊	（財）日本交通公社理事
佐藤 友美子	サントリー不発流行研究所部長
下村 彰男	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
新町 光示	（社）日本旅行業協会会長
高橋 はるみ	北海道知事
中谷 健太郎	由布院温泉亀の井別荘社長
二階 俊博	（社）全国旅行業協会会長
C. W. ニコル	作家
西村 幸夫	東京大学大学院工学系研究科教授
野口 健	アルビニスト
広瀬 敏通	NPO法人ホールアース研究所代表理事
星野 佳路	（株）星野リゾート代表取締役社長
堀内 光一郎	富士急行（株）代表取締役社長
アン マクドナルド	県立宮城大学特任助教授
溝尾 良隆	立教大学観光学部長
吉野 源太郎	（株）日本経済新聞社論説委員
武田 宗高	内閣府政策統括官（沖縄担当）
大野 慎一	総務省大臣官房総括審議官
銭谷 眞美	文部科学省生涯学習政策局長
太田 信介	農林水産省農村振興局長
澤井 英一	国土交通省総合政策局長
小野寺 浩	環境省自然環境局長